

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	学校関係者評価			
		項目	総合		評定	意見		
I 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ・地域の物的、人的教育力の積極的活用 ・自治公民館や関係機関との連携の推進 ・保護者と連携した生活リズムの確立	3	3	・地域の物的・人的教育力の活用に努めてきた。 ・公民館(地区)事業には、管理職を中心に積極的に参加してきた。児童の参加に対しても呼びかけを行ってきた。 ・学校便りや保健便りを通して生活リズムの改善に取り組んできた。また、家庭ごとの理解度に差があり、引き続き啓発していく必要がある。	3.5	・地域への情報発信等、地域との密接な関係が構築されている。 ・学校の活動に対し、家庭ごとの理解度に差があるのは当然と思うが、地域や家庭との連携をうまくやっていきたいという努力が強くうかがえる。 ・地域のつながりが、公民館活動も活発で、学校への協力体制はよい。 ・インターネットを利用していない家庭はどのくらいあるのだろうか? ・自治公民館活動や各地区での活動に積極的に取り組まれている。 ・地域との連携も積極的であり、あいさつもできている。また、ホームページも見やすく行事もよくなる。 ・開かれた学校づくりを家庭や地域と一体となって取り組む、教育方針がよくわかった。 ・地域によく溶け込んでいる。 ・参観日の出席率はすばらしい。 ・先生方と公民館との関わり合いがとても良い。 ・おやじの参加が多く、元気がいいです。いろいろなことにおやじを利用しよう。 ・地域行事への管理職以外の先生の積極的参加の促進の必要性を感じる。また、オープンスクールの意義についての保護者への説明の必要性を感じる。 ・地域とのつながりができている。 ・土日における先生方の行事への参加は、大変だと思う。		
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・中学校と連携した取組及び家庭教育力向上に向けた取組の推進 ・家庭学習習慣の確立	2	3	・基本的な生活習慣向上に向けた取組については、校内・家庭・地域を含めて推進している。地域におけるあいさつ面も改善が見られている。 ・家庭教育学習については、年間を通して計画的な活動ができている。保護者との連携を深めるため、PTA役員との学期ごとの教育懇談会を実施してきた。				
	3 開かれた学校づくりを推進する。 ・学校からの情報発信の活性化 ・学校評価を生かした教育課程の改善 ・オープンスクールの実施	3	3	・1月1回の学校便りの発行を通して家庭、地域への情報提供を行ってきた。また、オープンスクールを実施し、延べ34名の保護者等の参観があった。ホームページによる情報提供を随時更新していくいくかである。 ・11月にオープンスクールを実施。保護者の関心も高いが、個人差(家庭差)も感じている。				
II 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。 ・「わかる」「できる」授業の展開 ・ICT活用の推進 ・基礎基本の定着と活用力の育成 ・主体的な学習の推進 ・読書活動、NIEの推進	3	3	・学力調査等の分析を行い、本校児童の学力向上に応じた学習指導の実践に取り組んできた。そのため、今年度は、主題研究は個人研究としている。相互参観授業研修の活性化など、全職員で積極的に取り組んでいる。 ・ICTの積極的活用が、授業の効率化、児童の学習意欲の向上につながっている。 ・町雇用図書事務職員の配置が、図書室環境の向上につながっている。今後は、表現力向上に向けた読書活動の推進に加え、NIEの推進にも取り組んでいきたい。	3.5	・様々な学力向上への手立てが行われている。 ・主題研究を個人研究にしたことが、各個人の積極性を育んでいる。「NIE」の意味がなくなった。 ・学習意欲向上に、個別指導、基礎基本を目的とした授業の実践等「わかる」「できる」につなげてくださる先生方に感謝している。 ・ICTの活用で児童の学習意欲向上を図るなど、今後も十分に活用していただきたい。 ・児童の学力に応じた指導の取組、相互参観授業など先生方の指導力向上に力を入れておられることを高く評価する。 ・ICT活用だけでなく、基本となる学習を怠らない環境整備に努められているように感じた。 ・図書事務職員の配置はよいと思う。 ・図書室が整備され工夫されている。 ・相互参観など、とても良い取組を続けてほしい。		
	2 豊かな心を育む教育を推進する。 ・「山本小当り前のこと3か条」の指導を中心とした基本的生活習慣の定着 ・道徳教育の充実及び規範意識の向上 ・いじめ、不登校0を目指した積極的な生徒指導、人権教育の推進 ・勤労意欲、奉仕、自然愛、郷土愛の精神の醸成	3	3	・山本小当り前3か条については学校においてはほぼ実践できている。今後は家庭や地域への啓発も進めていきたい。 ・毎月実施しているハートフル委員会を通して、望ましい人間関係の醸成、豊かな学校生活に向けて早期対応を心掛けた。 ・朝のボランティア活動、緑の少年団活動は計画的実施ができている。		3.6	・ボランティア、みどりの少年団活動等、心の豊かさを育んでいる様子が伺える。 ・「山本小当り前のこと3か条」はとても大切で、特に履物並べは、他どころではなかなかできないことだと思う。 ・みどりの少年団活動が継続されていることは大変素晴らしい。 ・山本小当り前のこと3か条の推進や朝のボランティア活動、川南町内一校しかないみどりの少年団の活動もよく取り組まれていると思う。 ・当り前3か条、朝のボランティア、みどりの少年団活動など、長く続いており、子どもたちの成長に良いことだと思ひ、高く評価する。 ・山本小当り前のこと3か条を基本指導として、子どもたちに徹底させていることで、子どもたちが分かりやすい生活の流れができているように思う。 ・当り前3か条の取組が効果を上げている。 ・当り前3か条など、良いことは学校でも地域でも当たり前にできるように、 ・数多くの体験をさせる。多くの人との交流を行う。 ・学校が楽しい場所になっているようだ。	
	3 確かな体を育む教育を推進する。 ・教科体育の指導の充実 ・健康な望ましい態度や習慣の育成(病欠欠席0日100日以上) ・食に関する指導の充実 ・保護者と連携した生活リズムの確立	2	2	・体力向上プランに沿った指導を展開している。本校の実態としては、体格が小さく、体力の個人差が大きく傾向にある。 ・児童の病欠欠席が少ないことから、健康意識の向上がみられると考えている。(1/17現在の病欠欠席0日数84日) ・運動中や休み時間での軽いけがはあるが、大きなけがには至っていない。 ・給食の残量が昨年度に比べ減少している。			3.2	・病欠欠席0日数も多く、体力が向上がしっかり出ている。 ・体格差が大きいのは年によって変わってくるが、欠席が少なく給食残量が減っていることは素晴らしい。 ・早寝、早起き、朝ご飯の取組、給食残量が減っていることはよいことだと思う。 ・子どもたちの体格が小さいなど傾向を把握したうえで体力向上プラン、病欠欠席0日数84日もすごい。高く評価する。 ・体力向上プランに沿った指導、病欠、欠席をしない工夫等、小学校独自の真剣な取組に感心した。 ・給食の残量の減少を目指してほしい。 ・病欠が少ないのが素晴らしいと思う。いろいろな遊び(ゲーム)などの導入で、体力も向上するのでは。 ・まずは、親と朝食をとる習慣を身につける。 ・家庭での食事の重要性を伝え、実施できるような取り組みを充実させることで、体力や体格差の解消につながるのではなか。 ・病欠ゼロが素晴らしい。外遊びも大事だと思う。
	4 共生社会を目指す特別支援教育を推進する。 ・通常学級における支援体制の確立 ・関係機関との連携強化	3	3	・特別支援教育コーディネーターを中心に、計画的な教育推進ができている。特別支援教育に対する保護者の理解も高まっていると感じている。通常学級における特別に支援が必要な児童についても、児童理解を深め最善の教育環境になるよう、今後も早期対応を推進してきたい。				3.4
1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。 ・地域伝統文化の継承 ・郷土愛の定着を目指した活動の推進	4	4	・今年度も地域の伝統芸能である奴踊りを運動会及び地区敬老会等で披露した。補助金を活用し、衣装等も充実してきた。 ・緑の少年団活動については、年間計画に沿った活動ができている。今後は、補助金等を活用しながら制服をそろえる計画である。	3.7	・地域的に恵まれた環境、人材等もあり、児童のためにもよいことである。 ・ふるさと川南、ふるさと山本を学ぶ、教育が充実している。みどりの少年団活動については、よく知らないのですが、 ・奴踊り、みどりの少年団は山本小のみの特色ある良い取組だと思う。 ・地域伝統芸能、奴踊りの発表や、校外学習など積極的に活用されていると思う。 ・奴踊りは子どもたちが大人になった時、ときとなくあふれぬ思い出、とてもよいことだと思う。 ・地域伝統文化の継承を運動会で行い、地域一体感を出している。 ・伝統的な奴踊りを守ろうとする姿勢が評価できる。 ・奴踊りの継続、みどりの少年団の活動が素晴らしい。 ・奴踊りやみどりの少年団など、山本小独自の取組が地域を誇りに思う人にとってよいと思う。 ・地域の有識者との勉強、遊びも大事だと思う。			
2 キャリア教育を推進する。 ・キャリア教育関連諸活動の実践と見直し ・地域教育力の積極的活用	3	3	・各学年の年間計画に沿った活動が展開できている。特に今年度はふるさと(川南町)理解ということで、社会見学や遠足の校外学習、GT招聘を通してキャリア教育につながる地域理解学習に取り組んできた。					
IV 環境魅力ある整備教育を支える体制や	1 教職員の資質向上に努める。 ・教師力向上に向けた研修体制の確立と、職場環境の一層の改善 ・コンプライアンス遵守の徹底 ・組織的指導体制の推進	3	3		・校内外の研修への参加、また、初期研修への協力両方において積極的な取組の姿勢を感じている。今後もOJTの考えの浸透と体制づくりを推進していきたい。 ・コンプライアンスについては、計画的研修やチェックシートの活用により、意識の向上がみられる。	3.7	・先生方の研鑽努力に感謝。 ・働きやすい職場環境をつくるために努力されている。町からの技術員の働きも大きい。 ・学力向上をはじめ、たくさんの行事・生活面、こころ・身体面のサポート等、教職員の方々の日々は大変だと思う。そんな中、校内外の研修を重ねられていることに感謝している。 ・コンプライアンス研修の実施、避難訓練、危険箇所点検など確実に行われていると思う。 ・教職員の資質向上に努力されていること高く評価する。 ・コンプライアンスにおいて、計画に基づいた研修が行われ、意識の向上を強く推し進めている。 ・学校敷地内もきれいで、好感が持てる。 ・避難訓練や安全点検など、学校・児童・親、地域との連携で安心して過ごせる学校に保って下さい。 ・親と話す時間を多くする。おやじを利用するよい、学校での安全、登下校時の安全確保がされていると思う。	
	2 学校における安全、安心の確保に努める。 ・安全に関する危険予知・回避能力の育成 ・安全、安心な環境づくりの推進	3	3		・避難訓練や定期的講話により、児童の危険予知、回避能力の育成に努めてきた。 ・教師、児童双方による安全点検の実施により、校内の安全な環境づくりに努めてきた。町教委の技術員の方々の早期対応にも感謝している。			